

2024年11月20日



第18回『ASPICクラウドアワード2024』総務大臣賞、各部門グランプリ等を発表

一般社団法人日本クラウド産業協会(通称：ASPIC、東京都品川区西五反田、会長：河合輝欣)は、総務省などのご後援により、18回目となるASPICクラウドアワード2024を開催し、2024年11月20日(水)に経団連会館 国際会議場(千代田区大手町1-3-2)にて表彰式を執り行いました。

全国より応募のあったクラウドサービスをASP・SaaS/AI/IoT/IaaS・PaaS/データセンター/運用の部門に分け、有識者から構成された審査委員会の厳正な審査の結果、総務大臣賞をはじめ、各部門のグランプリ等が決定しました。栄えある総務大臣賞には、株式会社RevCommの音声解析AI「MiiTel」が選出されました。「MiiTel」は、高度な音声認識技術と自然言語処理を組み合わせることで、顧客とのコミュニケーションを効率化し、新たなビジネス価値を生み出す点が評価されました。

【ASPICクラウドアワードの趣旨】

ASPICクラウドアワードは、日本国内で優秀かつ社会に有益なIoT・AI・クラウドサービスを表彰し、事業者及びユーザの事業拡大及び業務効率化等を支援します。これによってクラウドサービスの利用促進と市場創造により社会情報基盤を確立することを目的としています。

【今後の展望】

ASPICは、今後も本アワードを通じて、日本のクラウド産業の発展に貢献するとともに、社会課題解決に資するイノベーションを創出する企業を積極的に支援してまいります。

[表彰サービス一覧はこちら](#)